

甲斐市議会改革特別委員会会議録

1. 開催日時 平成26年12月19日

2. 招集場所 甲斐市役所会議室A

出席委員（8名）

委員長	坂本一之君	副委員長	長谷部集君
	赤澤厚君		清水正二君
	米山昇君		池神哲子君
	保坂芳子君		樋泉明広君

議長 有泉庸一郎君

欠席委員（なし）

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	中村宗和	書記	山岡広司
書記	松井恵美		

議題

- 1 市民と議会の対話集会検証について
 - ・対話集会報告書
 - ・アンケート調査結果報告書
- 2 下今井地区対話集会について（1月31日（土）午後3時）
 - ・内容等について
 - ・出席議員について
- 3 その他

開会 午後 4時00分

○書記（山岡広司君） 議事に入る前に資料の確認をお願いします。

議会改革特別委員会資料第8回、当日の記録用紙、報告用紙、あと市民と議会の対話集会の当日記録用紙と報告書、アンケートの報告書、あと昭和町の対話集会についてということで参考資料をつけております。よろしいでしょうか。

それでは、議事の進行につきましては坂本委員長より進めていっていただきたいと思えます。よろしくをお願いします。

○委員長（坂本一之君） ただいまの出席委員は8名です。定足数に達しておりますので、これより議会改革特別委員会を開きます。

○委員長（坂本一之君） まず初めに、市民と議会の対話集会の検証についてを議題とさせていただきます。

そちらのお手元に、報告書、そして当日記録用紙、そしてアンケート調査ということですが、まずもって皆様方には先日の対話集会、本当にお疲れさまでした。ご協力いただきまして、盛会のうちに終わったかと思っております。若干そうは思っていない議員さんの中にはいらっしまったようで、挨拶でそんなことを話したということも聞きました。それはいろいろ意見がある中で、今回はこういう形でやろうということになりましたので、その成果は各自また検証していただくとともに、また会派でも十分に話し合っただけであればいいかなと思っている次第であります。

いろんなところにポスターを張らせていただきまして、それにはお礼をさせていただきました。結構PRのほうには努めたつもりですけれども、目標の150人には若干到達しませんで、116名ということになりまして、80%ぐらいということでしょうかね、集まっていたという形ではないかと思えます。

そんな形で、きょうは皆様方に先ほど言いましたように、報告書、それから対話集会のアンケートということになります。こちらが恐らくきょう見るのが初めてだと思います。今ここで審議をしていきますと6時ぐらいになってしまいまして、某反省会に間に合わないとい

けませんので、別に僕はやってもいいんですけどもそういうわけにはいきませんので、この内容をよく見ていただいて、読んでいただいて、恐れ入りますけれども1月早々にまた会議をさせていただきます。そのときまでに必ず会派でこのアンケートと報告書を見ながら意見、検証をしていきたいと思っておりますので、各自読んでおいていただきたいと思っております。

気づいたことがあれば、今見た段階でお気づきになったら言っていただければ、これホームページに載せますので、そんな関係もありますのでよろしくお願いします。

1回修正がありますので、事務局のほうでよろしくお願いします。

山岡係長。

○書記（山岡広司君） アンケートの報告ということで見ていただきたいと思っております。

3ページになりますが、職業というところになります。その他が4人で6%となっておりますが、申しわけないですがこれ5%。図のほうは5%となっておりますので、すみません、ここ訂正をお願いします。

あとすみません、2ページ戻っていただきまして年代で、回答者の年代は60歳以上の方が67%と最も多く、この「20代」を消してもらって、30代は3%ということで、「20代」を消していただきたいと思っております。「30代」が3%で、「20代」は消してください。「最も多く、30代は3%でした」。

次の4ページをすみません。今回のテーマ2になりますけれども、どちらでもよい、これが4人となって「5%」となっておりますが、すみません、「6%」、お願いします。これ図のほうは6%になっています。6をお願いします。

あとパーセンテージで、5ページの4になるんですが、これ割合で足していくと100にはならないんです。ただ、「参加しない」が1人、無回答が1人で、どちらかを2%にするというわけにはいかないということで、どっちか1.5%ずつぐらいにするかということですね。

〔「それでいこう」と呼ぶ者あり〕

○書記（山岡広司君） そうしますか。

4番のところ、で、「参加しない」の1人の横が1%になっていますが、これを1.5%、無回答の1人の横の1%を1.5%に変更をします。

〔「4ページの下、どちらでもよいを」と呼ぶ者あり〕

○書記（山岡広司君） それも違いますよね。

〔「これも5.5にしようか」「これ両方とも4人だから」と呼ぶ者あり〕

○書記（山岡広司君） これも5.5にしたほうがいいですね。

以上、変更させていただきます。

○委員長（坂本一之君） よろしいでしょうか。

本当に見ていただければ、6ページ、7ページに自由記入欄ということで、アンケートでコメントを書いていただきました。ここを書いていただいたということは結構関心があるのかなと思ひまして、結構書いてくれたかなという気がいたします。それを見ますと、基本の意見交換のための時間が短いという回答が結構ありました。難しいところで、あれ以上長くすると、違う方向に行っちゃうのかなという気もするし、難しいところです。これはちょっと次の課題かなと思ひます。

今回何分だったの、結局ここで。質問の、45分なかったのかな。

○書記（松井恵美君） 33分です。

○委員長（坂本一之君） 33分だということで、結構質問の時間が短いとかというのが、結構ぽつぽつという、質問の時間が短いというのがありました。

説明が長過ぎて、意見交換の時間が短いというのもありましたけれども。ここの意見をよく皆様方で、また会派に帰っていただいて、よく説明をしていただいて、ほかの議員さんにも説明をしていただいて、本当にこうなんだかということ、こういった全員参加でしたのですね、そこら辺の何というか、すり合わせみたいなことですよ。

○書記（松井恵美君） 委員長すみません、間違えました。意見交換会が33分で、その他のところが11分でした。

○委員長（坂本一之君） 44分ね。じゃ、大体時間どおりなんだね。

委員の意見は何かありますか。

8番かな、対話集会の意義は何かを参加者が理解していない。執行部の集会とは異なる。今後の議会活動に期待するという肯定的な意見も。誰か書いたの、議員さん。

このとおりだと思ったから、誰か書いたのかなと思ったんだけど、執行部の集会とは異なると、この辺が難しいところで、ほとんどが議員さんが言うことも執行部の言っていることも同じだと思っているからああいう問題が出ちゃうから、ここの違いを今回大分言ったつもりなんだけれども、やっぱりまだ理解ができていないよね、市民にとってはね。ここが難しいところですね。

あとは自由に皆さん、発言してください、気づいた点があれば。若干時間とりますので。

○委員（長谷部 集君） 議会の進行をさせていただいて、その中でちょっと気づいたんです

が、今回初めて全議員が参加したということなんですけれども、今までは3分の1だったですよ。司会もしながら、質問に対する答えを皆さんにどうですかと振ったときに、過去は人数が3分の1だったので、何か自分が答えなきゃというのが議員の中にはあったと思うんです。結構みんな手を挙げて答えていたから。全議員がというのはちょっと考えたほうがいいかなというふうに思いました。

○委員長（坂本一之君） これは10番に、「一部の議員は、質問に対し、その場しのぎの返答をしているように聞こえた」という厳しいコメントもありますよね。

あと、自分の担当した中で気づいた点があれば、何かありますか。自由に。

米山委員。

○委員（米山 昇君） うちの会派で細かい内容を反省していたということだったもので、やっぱり、15番にも意見として出ていますけれども、説明が長くて意見交換の時間が少し短かったんじゃないかという意見がありました。

○委員長（坂本一之君） ほかに何か。

○議長（有泉庸一郎君） この前、ちょっとアンケートの回答を見せてもらった中で、アンケートの、今後の議会・議員に求めることは何ですかという質問の中で、やはり3番の資質の向上というのが多かった点が、何を求めると聞いたところでは言っているのかわからないけれども、多かったというのが、間違いなくこれ多かったですよ。ここである市民の関係。だからいろいろな面でということなんですけれども、そういうことが、ここには一部しか載ってなかったから今ちょっと言わせてもらったんですけれども。

○委員長（坂本一之君） 今回は初めての試みで、1カ所でやったというのがありまして、その中には、やっぱり3地区でやってほしいという意見もありました。その点がありましたので今後どうするかということは今後の課題かなと思います。とりあえずは1カ所でやったのは、総括的には正解だったと思います。そういうところにおいては、長谷部君が言ったように、みんな下を向っちゃったというような、僕があそこで見ても思ったので、この点はちょっと改善をしなければいけないかなという点が若干僕も感じていたところがあります。

では、またこれはいいですか。また見ておいていただいて、次の時に各会派ごとに振りまきますので、また個人的にも意見を求めますので、これを読んでいただいて、次にはよりよくするためにどうしたらいいかということの検証をしたいと思いますので、こちらのほうはお願いをします。

それでよろしいでしょうか。

[発言する者あり]

○委員長（坂本一之君） それはまた全員に渡します。全議員ですね、渡します。

[発言する者あり]

○委員長（坂本一之君） ホームページに上げないで。まだ。先に渡して、議員さんに。そこで見てもらうから。

[発言する者あり]

○委員長（坂本一之君） じゃ、それはお願いいたします。

その次ですね、31日の下今井地区の対話集会についてご意見をいただきたいと思います。

こちらは議長にいろいろ骨を折っていただいているので、1月31日の、時間のほうは向こうのほうからの希望で、午後3時という時間になりまして、それでもう1カ月ちょっとぐらいしかないので、どういう形でやっていこうか、また、今言ったように全議員でやるのか、それとも一部の議員さんでやるのかということについて話をしていかなければなりません。

初め、内容についてどういう形でやるかということなんですけれども、これは議長、あれですよね、向こうのほうからこういうテーマということは何もまだ……

○議長（有泉庸一郎君） 書いてなかったですね。

○委員長（坂本一之君） だから、これがないということは、どうしようかなと思っているんです。それともフリートークでやるのか。そういうことです。地元のことも今後なるのかなという気がしますよね、恐らくね。

だから、今回みたいに堅苦しくやらなくて、車座みたいな形でやるかということなんです。そうすれば本当の対話集会になる。それで答えられるものは答えられるし、答えられないものは答えられない。執行部とは違うということだけね、先ほどね、僕らはあくまでも議員なんです、それは委員会を通じてとか、議会を通じてとかということによって執行部に働きかけるまでしかやれないということなので。そういう形でやりますか。それとも何か決めてやるか。どうですか、皆様のご意見を。

[「4地区です」と呼ぶ者あり]

○委員（長谷部 集君） 議会の説明みたいな、プロジェクターを映してというようなのはやるということです。

○委員長（坂本一之君） 簡単にやりますか。どうします。それもまだ、どうしたらいい。

[発言する者あり]

○委員（長谷部 集君） だからどこまでをやるかということ。どこをやるかというのを。

〔発言する者あり〕

○書記（山岡広司君） 副議長がやったのが議会だから、15分から20分。清水議員がその後だから、20分、20分だ。20分。

○委員長（坂本一之君） どう考えたって上限1時間半でしょう、やっぱり。20分ぐらいやらないと回らない。アンケートの中にも議会の仕組みとか、政務調査費の活動費についても説明をというあれもあるから、20分ぐらいの議会の説明は……

○議長（有泉庸一郎君） 余りあれなんだけれども、金額のことはよく言ったほうがいい。えらい誤解されていることがあるからね。よっぽどもらっているものと思っているから。それで、その議員年金のこともやっぱり知らないんだよね、もう廃止されたということ。

○委員長（坂本一之君） その辺でやっぱり20分ぐらいはやりますか。

〔「そうだね」と呼ぶ者あり〕

○委員長（坂本一之君） 1時間10分、70分ぐらいの対話集会という形になれば、かなり長くとれますけれども。

○委員（長谷部 集君） それをやって、最初の意見交換会は今説明した議会について何か意見交換会をやって。

○議長（有泉庸一郎君） そうすればそんなにあれだよ。ここに事務局で載せてもらった対話集会について結構こう概要が書いてありますけれども、聞くところによると、結構頻繁に、小さいところの単位で答弁しているようなんです。常任委員会の単位で行っているようなので、常任委員会の委員プラス地元の議員というような形になっているんですよ。それでも一つ、ここに書いて、先ほど委員長がよく言っていたように、執行部側で答えるべきものはもう答えないということにしてあるらしいですよ、もうそういうものは。それは要望として受け取って、また後日回答してやるなりということらしいです。そうすればそんなに、答えられない部分は必ず出てくるからね。

そういうふうにして、そういうふうにしちゃったほうがいいね、そんな曖昧な話にしないようにね。まあ向こうだってわかってくれるよね、よっぽどのわからず屋でない限り。

〔発言する者あり〕

○委員長（坂本一之君） じゃ、整理すると、内容的には議会の仕組みに10分ぐらいとして、その説明についての意見交換をして、その後は、さっき言ったまちづくりみたいな形で、地元のことがほとんどになるかなという気がしますけれども、その日はそういう、いいですか

ね、意見交換みたいな形で。この3本立てというような形でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（坂本一之君） 場所はあそこでしょう。

〔「議員駐車場」と呼ぶ者あり〕

○委員長（坂本一之君） 駐車場は結構あるんですか。

〔発言する者あり〕

○委員長（坂本一之君） ということで、あとはですね、内容はそんなような形で、出席議員なんですけれども、どういう形でやりましょうかねということなんです。大変言いづらいんですが、1月31日が私と清水議員が結婚式がありまして、市長もこれは一緒なんで、きょうは市長は関係ないんですけれども、ちょうど2時からあれでこれが3時からということで、大変申しわけないですけれども欠席という形になってしまうので。もちろん資料づくりとかそういうものはしますけれども、あとはもしかこのメンバーでやっていただければ、残っている方でやっていただければ。

○委員（清水正二君） 半分半分ぐらいで、今ちょうど4年ですよ、4年間ずっと続けていけばね。半分半分でいけば2回交代ぐらいで。ただ、議員を選ぶのをどういうやり方でやるかというのは、このままこの小さいところでやったほうがいいというのがあれば、確実にいったほうがいいと思うし、また3地区ということで戻すようになれば、また3つに分けなければならぬので、今はそれは決めなくて、議長の要望は、改革委員の皆様方と、もちろん地元の議員さん、それと常任委員長ということで、そこで三浦議員が加わるだけ、委員長も三浦議員が兼ねていまして、それで赤澤議員がいますので、あと赤澤議員が加わるだけだと、2人が加わるだけという、そういうことなんですけれども。

〔発言する者あり〕

○委員長（坂本一之君） そこで、苦し紛れに考えた案が、大変申しわけないけれども、ことし議員になった方には、まだ1回しかやっていないのでお手伝いをいたどうか。赤澤議員がここにいますので、残り、金丸議員、金丸議員、そうすると10人ぐらいになるのかな。半分ぐらいになるという勘定の、もうちょっと多いか。13人ぐらいの人数でどうかなと思ってるんですけれども、多いですか。

〔発言する者あり〕

○委員（赤澤 厚君） 大体どのくらい、これふえるんですか、集会所というのはかなり。

〔発言する者あり〕

○委員（米山 昇君） ただ、土曜日だからということだけ……

〔発言する者あり〕

○議長（有泉庸一郎君） 時間も決めた中で、多分組長会議って月に1回ぐらいやっているらしいんです。その12月の区長会というか、地区の区長さんとどういふメンバーでやったか知らないけれども、そこで話をして決めたようだから、だから多分あれですね、こっちでは決めたわけじゃないですから。それで、実質的には近いからね。

○議長（有泉庸一郎君） だから、横町というのが結構多い。

○議会事務局長（中村宗和君） 横町が361です。

〔発言する者あり〕

○議会事務局長（中村宗和君） ちょうどドラゴンパークから入ったところ。あのとっつきが横町というところで、あそこが一番多くて361ですね。寺町が83、中町が91、上町が73世帯。

○委員長（坂本一之君） 3人や4人で行くんじゃ相手がね。ある程度五、六十人になればね、今のメンバーでいいですか。どうですか、こんな形で。大変申しわけありませんが。

○書記（山岡広司君） 確認です。

改革委員さんが8名のうち2人が欠席で6、常任委員長で三浦委員長と小澤委員長で2人、地元は三浦委員長かぶりますから一応ゼロとして、新人の議員さんが5名で、赤澤議員がダブっていますので4人、合計12で議長を入れて13でよろしいですか。

○委員長（坂本一之君） それでやっていこうということによろしいですか。

○委員（池神哲子君） 今回のアンケートを見て、意見交換の時間が短いという声が多いですね。

○委員長（坂本一之君） 今までが45分ぐらいだったので、今回は70分にして。30分というか、1回ずつやったからね、逆に短いと思われたかもしれないんですけども、そんなに思わなかったかもしれないけれども。これ難しい問題で、長くとればとるほど、だんだん脱線してきってしまうという観点があったので。

〔発言する者あり〕

○委員長（坂本一之君） それは難しいところでね。なかなかそこまでは難しいんだけど、そこはやっぱり理解してもらうには、こういうこと言っていかなきゃならないというのがあるんです。

〔発言する者あり〕

○委員長（坂本一之君） じゃ、そんな形によろしいですかね。内容、それから出席議員につ

いて。それからまた年明け1月9日かな、会議は。9日は忙しいですね。

○書記（山岡広司君） 一応、委員長とも話をしまして、1月9日となりますが、その日が午前中を広報常任委員会、午後1時半から厚生環境常任委員会、2時間ぐらいということですので、3時半ぐらいをめどに改革をやっていければなど。ちょっとその日忙しいですが。

○委員長（坂本一之君） 夜は。

○書記（山岡広司君） 夜は、研修会です。

[発言する者あり]

○委員長（坂本一之君） 新年の研修会。3時半からね。そこしか日がないんですよ。そこで、前回の11月にやったものの意見集約をさせていただいて、そして下今井の内容もちょっと、あれをまた考えていきますので、それをやっていただく。そこであれもしなきゃならないね、役割分担もしなければならない。役割分担ってそんなにあれだよ、今回は。

○書記（山岡広司君） そうですね。

○委員長（坂本一之君） 説明も要らないし。

○書記（山岡広司君） 司会と説明と、あとプロジェクターを動かしていただければいいですが。

[発言する者あり]

○委員長（坂本一之君） あとは今後ですね、どうするかということで、31日に終わって。議会改革もやらなければならないからね。前に言ったように、そこに実行委員会を設けて、実行委員会の中でやっていただくということもまた話し合わなければなりませんので、非常に難しいことかなと思いますけれども、その点もあわせてまたご意見を聞かなければならないし、議会改革をこればかりやっているとほかの改革が進まないの、すぐやらなければならない改革もありますので、その議論にも走っていかねばなりませんし。質の向上のほうが多く求められておりますので、恐れ入りますけれどもご協力をお願いします。

[発言する者あり]

○委員長（坂本一之君） では、ほかに委員さんから何かありますか。

なければ、それだけを会派でまとめておいてください、ご意見いただきますので、それまでに。

あと、事務局から何か。

○書記（山岡広司君） すみません、ファクスでこちら、各委員さんには送るようにします。

○書記（松井恵美君） メールボックスに入れたよというファクスを送る……。

○書記（山岡広司君） メールボックスに入れたよというファクスを。改革委員さん以外の委員に……

〔発言する者あり〕

○書記（松井恵美君） 修正前のものであれば。

○委員長（坂本一之君） 会派で配ってもらえば。会派で持っておいてもらおう。そのほうがいいだろう。ばらばらだから。

○書記（松井恵美君） 先ほどの修正前のものでも。

○委員長（坂本一之君） いいよ。

○書記（山岡広司君） じゃ、今渡しますので、すみません。各会派に。

〔発言する者多数あり〕

○委員長（坂本一之君） すみません、今メンバーに配っていただいているので、またご意見をいただきながら。そういうことで、終わりたいと思います。よろしいでしょうか。
ご苦労さまでした。

閉会 午後 4時38分